

# 素晴らしきミツバチの世界

養蜂とは。ミツバチの素晴らしきとは。永年蜂を愛し続けてきた  
久世佳弘氏が語る、素晴らしきミツバチの世界!!

## 冬のミツバチ

活発に飛びまわっていたミツバチたちも秋が深まり始める頃から冬越しの準備に入ります。自然界のミツバチは暖かい時期に集めてきた花粉や蜜を貯蔵しておき、冬の期間の食糧としています。飼育されているミツバチは、人間が花粉や蜜を採ってしまうため、砂糖水やきな粉などを与えて冬越しをさせることがほとんどです。

ミツバチたちはある程度の数で群を作り、お互い身を寄せ合って体温で暖めあい冬を越します。1箱中のミツバチの数が少ない場合などは寒さで死んでしまうこともあります。こうしたことがないように、この時期には、養蜂家の人たちが群の数の調整をする必要があります。

ミツバチが入り出す巣門も、板をあてて大きさを調整し、あまり風が入り込まないように工夫をします。

こうして無事冬をのりきったミツバチたちは、さらに強い群を作り、暖かい春の日差しが差し

込む頃には、また元気に活動を始めるのです。穏やかでやわらかい春の日差しを待ち遠しく思うのは、ミツバチも私たちも同じなのかもしれません。

## はちみつで 寒い冬もポカポカに

寒いこの時期我が家では、いつもにも増してはちみつが大活躍します。パンに塗ったり、お湯や温めたミルクに溶かして飲んだりすることはもちろんですが、容器に輪切りにしたレモンとはちみつを入れて、2日ほどおくとすっきり味がなじみ、そのまま食べても、お湯で割ってもとても美味しく、また身体も温まります。風邪のひき始めの時などは特におすすめの簡単調理法です。心も身体も温まる美味しいはちみつ料理で、寒い冬も元氣にお過ごしください。



株式会社札幌山本養蜂園社長

久世佳弘

久世佳弘 プロフィール

昭和14年

昭和47年

平成6年

札幌山本養蜂園

札幌山本養蜂園

TEL 011-867-3333

住 所 札幌市白石区北郷2条7丁目6の13

事業内容 ハチミツ関連商品・養蜂器具卸販売

北海道常呂町生まれ。山本養蜂園札幌営業所勤務。札幌山本養蜂園として独立。

